

みんなの ライフスキルタイムズ

ライオンズクエストプログラムの普及活動では、普及活動のさまざまな段階や研修先のニーズにあわせて、多種多様な研修会を実施することができます。ポイントは、現場の課題やニーズをライフスキル教育の観点から考えること。課題やニーズを分析したり、解決・改善する方法を考えたりにしていきます。研修では実際にライオンズクエストの考え方や手法を体験し、ライフスキル教育の推進やライオンズクエストの活用と一緒に考えていきます。



ライオンズクエストを理解する入口・仲間をふやそう！

(令和3年11月9日実施、
335-C地区ライオンズクエスト委員会主催)

ライオンズクラブメンバーにライオンズクエストのことを知ってほしい、というニーズに基づき、地区委員会が企画し、地区内のメンバーを対象にセミナーを実施。認定講師がお伺いし、今回はクイズ形式でプログラムの特徴や要点を説明しました。また、学校で実践する理由、ライオンズクラブメンバーの役割、プログラムが目指すものについても説明。加えて、子どもたちが学ぶ「目標設定」のスキルを、ワークシートを用いて体験していただきました。



特定のテーマにあわせて、ライオンズクエストを考える

(令和3年10月9日実施、
330-A地区12R1Z東京三鷹ライオンズクラブ支援)

東京都三鷹市内小・中学校の道徳推進委員が集まる研修会に認定講師がお伺いし、ライフスキル教育の観点から道徳について考え、道徳でのライオンズクエストプログラムの活用についてお話ししました。道徳に求められている「問題解決的な学習」や「体験的な学習」には、ライオンズクエストがぴったり。具体的にライオンズクエストの授業を用いて活用例を紹介しました。また、さまざまな手法を取り入れることでアクティブラーニングな道徳が実践できることもお伝えしました。



継続的な実践と定着のため、学校でフォローアップ研修

(令和3年11月8日実施、
334-D地区1R2Z富山昭和ライオンズクラブ支援)

ライオンズクエストプログラムの実践を学校ではじめて14年。富山市立大泉中学校では毎年、一度は着任された先生方のワークシヨップ参加支援と認定講師がお伺いするフォローアップの研修会を実施しています。学校の実践の様子を伺い、講師が模擬授業をやってみたり、先生方の授業を拝見したり、そのときの課題にあった研修会を実施しています。コロナ禍の昨年もオンラインで実施しました。継続的な学校での実践は、フォローアップの研修会だけではなく、地元ライオンズクラブの理解と支援のおかげです。

